

2013年5月22日

インドにおいて8番目となる 「インド バンガロール 2 データセンター」の建設開始について

NTT コミュニケーションズ（略称：NTT Com）は、データセンター関連サービスを提供しているグループ会社 Netmagic Solutions Private Limited(ネットマジック・ソリューションズ社、本社：インド ムンバイ、CEO：Sharad Sanghi、略称：Netmagic 社)を通じて、2013年5月22日に、インドにおいて8番目となる「インド バンガロール 2 データセンター」の建設を開始します。

本データセンターは、バンガロールの工業団地「エレクトロニック・シティ」^{*1}にて、サーバールーム面積約4,600㎡を確保しており、2013年12月よりサービスの提供を開始する予定です。これにより、NTT Com グループがインドで展開するデータセンターのサーバールーム総面積は、約1.5倍に拡大します。

1.背景

経済成長著しいインドにおいて、経済センターの一つであるバンガロールは、国内外のIT企業や製造業、流通業など企業進出が加速しており、それに伴いデータセンターサービスの需要が急速に拡大しています。

NTT Com は、Netmagic 社を通じてインドのデータセンターサービスを提供しており、現在バンガロール、ムンバイ、ノイダ、チェンナイに7つのデータセンターを展開していますが、さらなるお客さまの要望にお応えするため、バンガロールの工業団地「エレクトロニック・シティ」内に新たなデータセンターの建設を開始することとしました。

（別紙） インドのデータセンター拠点

2.特長

(1) 高い拡張性と信頼性を備えた大規模データセンター

本データセンターは、サーバールーム面積約4,600㎡（約2,000ラック相当）を予定しており、お客さまのシステム拡張への柔軟な対応が可能です。また、電力・空調・通信設備の冗長化やセキュリティの充実などにより、信頼性の高いデータセンターサービスを提供します。

(2) データセンターに接続するネットワークサービスを複数キャリアの中から選択可能

データセンター内に複数の通信事業者の通信設備（POP）を備えており、お客さまは自由にネットワークサービスを選択できます。例えば、災害や故障発生時におけるBCPの観点から、複数の通信事業者のネットワークサービスを利用して冗長化を図るなど、データセンターに接続するネットワーク環境を柔軟に構築できます。

(3) ITIL など国際認証規格に準拠した先進の運用体制

本データセンターでは、IT システム運用管理の包括的ガイドラインである ITIL(Information Technology Infrastructure Library)に基づく運用のほか、国際認証である ISO 27001 ISO 9001 ISO 20000-1 などに準拠した運用体制で安全かつ効率的なサービスを提供します。

<インド バンガロール 2 データセンター 外観予定図>



(参考) Netmagic 社について

Netmagic 社は現在従業員約 700 名を擁し、1998 年の会社設立以降 15 年間にわたりインドでコロケーションサービスやクラウドサービスを提供する、インドにおける業界のパイオニアです。1,200 以上の企業に対する高品質のサービスへの評価は高く、Frost & Sullivan 社のインド「Data Center Service Provider of the Year 2011」などを獲得しています。

*1: バンガロール近郊の、IT 企業などの入る優遇措置の行き届いた主な工業団地のひとつ

別紙 インドのデータセンター拠点

